



IP エージング

この章は、次の内容で構成されています。

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [GUI を使用した IP エージングポリシーの設定 \(1 ページ\)](#)

概要

IP エージング ポリシーは、エンドポイントの未使用の IP アドレスを追跡しエージングが行われます。トラッキングはブリッジドメインに設定されたエンドポイント保持ポリシーを使用して実行され、ローカルエンドポイント エージング間隔の 75% で、ARP 要求 (IPv4) やネイバー要請 (IPv6) を送信します。IP アドレスから応答を受信しなかった場合、その IP アドレスはエージングアウトします。

このドキュメントでは、IP エージング ポリシーを設定する方法について説明します。

GUI を使用した IP エージングポリシーの設定

このセクションでは、IP エージング ポリシーの有効と無効を切り替える方法について説明します。

手順

- ステップ 1** メニュー バーで、**System** タブをクリックします。
- ステップ 2** サブメニューバーで、**System Settings** をクリックします。
- ステップ 3** ナビゲーション ウィンドウで、**Endpoint Controls** をクリックします。
- ステップ 4** 作業ウィンドウで、**Ip Aging** をクリックします。
IP Aging Policy が、**Administrative State** の **Disabled** ボタンが選択された状態で表示されます。
- ステップ 5** **Administrative State** で、次のオプションのいずれかをクリックします:
 - **Enabled**— IP エージングを有効にします。

- **Disabled**— IP エージングを無効にします。
-

次のタスク

エンドポイントの IP アドレスを追跡するために使用される間隔を指定するには、エンドポイント保持ポリシーを作成します。**Tenants > *tenant-name* > Policies > Protocol** に移動し、**End Point Retention** を右クリックし、**Create End Point Retention Policy** を選択します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。